

普及活動情勢報告（令和6年2月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

調理関係者に伝える嶺北地域の伝統食材 ～「ぜんまい料理教室」開催～



「若い人もぜひ、ぜんまいの調理法を学んでね」
講師の生産者、J A職員一同

1月22日、嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会とJ A高知県れいほくぜんまい加工部会は、R K C調理製菓専門学校で同校の協力のもと、恒例の「ぜんまい料理教室」を開催し、生徒36名が受講しました。J A営農指導員と生産者から栽培から加工までの工程や嶺北地域は日本一のぜんまい産地だが高齢化で生産者が減少していること等を紹介し、その後にJ A女性部大豊支部3名が講師となり「ぜんまいの油炒め」「ぜんまいのスタミナ漬け」の調理実習が行われました。生徒からは「少し苦みもあるが美味しい」と好評でした。

普及所は農業部会の事務局として日程調整や食材手配を行い、当日は料理教室運営上の課題抽出を目的に進行を確認しました。

普及所は今後も、本活動を支援していきます。

土づくりを基礎から学ぶ！ ～「第3回農業基礎講座」開催～



土づくりの講義と測定実習を
指導する普及職員

1月30日に、嶺北農業改良普及所は第3回農業基礎講座「土づくり編」を開催しました。新規就農者等11名が参加し、土づくりの基本や土壌診断の方法について講義を行いました。

参加者はほ場の土を持参し、それぞれが実際にpH、ECを計測しました。参加者からは「初めてpH、ECを測り勉強になった。定期的に土壌診断を行う重要性がわかった」「今回の講座で土づくりの基本について理解することができた」という発言がありました。

普及所は今後も、新規就農者の技術習得に向けて支援をしてきます。

さらなる収量向上・高品質米の生産を！ ～「土佐天空の郷」個人面談～



今作の栽培管理の振り返りに
助言する普及職員

2月4日、5日、本山町特産品ブランド化推進協議会は、「土佐天空の郷」の生産者34名を対象に、個人面談を実施しました。

面談では、生産者ごとにまとめた今年度の収量と品質の結果を基に、5年度作の振り返りを行いながら、次作に向けた病虫害対策や施肥、水管理等の改善策を協議しました。

また、今年度は稲こうじ病が多くみられたため、実証ほど効果が確認された「銅剤による稲こうじ病対策」の情報提供を行いました。

生産者からは、「ケイカル等の土壌改良材を入れるタイミングや銅剤の使用方法は？」などの質問や、「単収がもっとあがるように頑張りたい」と熱心な抱負も聞かれました。

普及所は今後も、高品質米の安定生産に向けて支援していきます。

今後の部会活動について協議しました ～園芸部柚子部会総括会～



今後必要な対策を説明する
普及指導員

2月6日、JAれいほく園芸部柚子部会は総括会を開催し、生産者10人が出席しました。

普及所からは、令和5年作の生育状況、整枝剪定方法、病虫害対策、園地整備、省力機器の導入について説明しました。

また、3月に開催する剪定講習会や来年度の防除暦について内容の検討や協議を行い、生産者からは、講習会の内容や防除暦に関する要望のほか、施肥コストの低減・有機肥料・要素欠乏対策についての意見が積極的に出されました。

普及所は今後も、生産者やJAと連携して、円滑な部会活動やユズの高品質安定生産に向けて支援していきます。

～嶺北地区農村女性リーダー協議会総会開催～



次年度の農業分野施策について説明する普及指導員

2月7日、嶺北地区の農村女性リーダーは令和5年度総会を開催し、女性リーダー11名と普及所から2名が参加しました。

普及所は、活動計画を検討するための参考として、次年度の農業分野の施策や他地区の女性リーダーの活動状況等の情報提供を行いました。

女性リーダーは、今後の協議会活動が厳しくなる見通しの中、嶺北地区としての活動を見直す時期ではないかとの声があがり、地域の状況や新規認定候補者の情報交換などを行いながら前向きに検討し、次年度の活動計画を立てました。

今後も普及所は、女性の活躍促進に向け、女性リーダーの活動を支援していきます。

～嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会～



「これからの中山間地域の農業経営のあり方は？支援策は？」尽きない課題を協議

2月15日、嶺北農業改良普及所で令和5年度第3回嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会が開催され、部会員15名が参加しました。同部会は嶺北地域の行政、農業関係団体、普及所で組織され、地域の農業振興に向け、れいほく八菜等販売促進、担い手確保、有望品目・栽培技術の導入等多様な事業に取り組んでいます。

今回は、栽培技術実証結果や資材高騰等を反映して見直した雨除け米ナス経営モデル等を共有しました。また、普及所からの提案で、多様な担い手確保に向け、管内園芸品目について段階的な農業所得目標に応じた多様な目標での経営指標を次年度に作成することが合意されました。

普及所は引き続き農業部会のメンバーとして、関係機関と連携して地域の農業振興に努めます。